

四絡幼稚園の教育と活動内容

【教育目標】

自分らしさを発揮し、心豊かにたくましく生活していく幼児の育成

めざす子ども像

興味や関心をもち、
生き生きと遊ぶ子ども

友達と認め合い
仲よく遊ぶ子ども

自分で考え
行動する子ども

根気強く
取り組む子ども

自分で遊びを見つけ
考え工夫する

集団生活を通して生き
る力を身につける

困難を乗り越える力を
育む

互いのよさや違いを認め、
友達とのかかわりを喜ぶ

元気いっぱい・笑顔いっぱい・楽しい幼稚園

～子ども・家庭・教師が共に育つ幼稚園～

全職員が連携し、一人一人の発達の過程や実態を考慮した保育を工夫し、個々の成長と集団としての成長をめざした教育活動を実施する。

豊かな心を育む

◇豊かな心・温かい人間関係を育む体験の重視

- ・自然とのふれあいを大切に体験を通して豊かな感性を育む。

年間を通しての栽培活動・ピオトープの活動・小動物の飼育

- ・異年齢のかかわりを通して信頼や思いやりの気持ちを育む

遊びや元気っこタイム、集会を通して異年齢との交流

- ・地域の文化や伝統行事に触れる機会を通して地域に親しむ心情を育てる。

四絡探検 七夕、ひな祭り会、地域の行事への参加

- ・音楽や絵本との触れ合いを通しての豊かな感性を育てる。

ラララタイム 親子絵本作り 読み聞かせボランティア 親子読書

健やかな体を育む

◇一人一人の発達の特性に応じた健やかで安全な生活に必要な基本的生活習慣の確立

- ・体を動かす楽しさを味わう活動を工夫する。

年間を通した元気っこタイム 元気っこウォークや園外保育

- ・家庭との連携を密にし、個に応じて繰り返し指導することで基本的生活習慣の自立を図る。

保健指導 チャレンジカードの取組(挨拶・食事・排泄など)

- ・季節の野菜栽培を通じた食育指導

畑の野菜を使ったクッキング・カレーパーティー・お芋パーティー

- ・集団でのルールや決まりを守る指導

交通安全教室、園外保育、当番活動

学びの基盤を育てる

◇子どもの願いや発想を大切にしたい楽しい活動の創造

- ・主体的・意欲的な遊びを大切にしたい保育の実践
- ・好奇心・探求心を育む保育の構想
- ・自分なりのめあてをもち、挑戦や試行錯誤する過程を重視した体験

- ・子どもが主役の行事の実践

運動会・生活発表会・絵本展・誕生会

- ・一人一人を大切にしたい学級経営 学級の友達との育ち合い

保育を語り合う会

地域や家庭との連携

◇家庭・地域・異校種間との連携、交流の推進

- ・保護者へ子育ての情報を発信し、子どもの育ちを保護者と共有する。

保護者研修・講演会・学級懇談・個人懇談・子育てサロン

- ・小学校との交流・滑らかな接続 中学校・保育所との交流

- ・福寿会・高齢者サークルとの交流 昔の遊び・触れ合い遊び

- ・地域の子育て家庭への支援 未就園児さくらんぼ教室

- ・外部講師による体験活動

銭太鼓教室、音楽遊び ボッチャ体験

同 和 教 育 を 基 底 に 据 え た 教 育 活 動 の 推 進

生きる力を育てることを基盤とした幼稚園教育

令和5年度 園経営について

教育目標

自分らしさを発揮し、心豊かにたくましく生活していく幼児の育成

めざす幼児像

- ・興味や関心をもち、生き生きと遊ぶ子ども・・・自分で遊びを見つけ、考え工夫する
- ・自分で考え行動する子ども・・・集団生活を通して生きる力を身につける
- ・根気強く取り組む子ども・・・困難を乗り越える力を育む
- ・友達と認め合い仲よく遊ぶ子ども・・・互いのよさや違いを認め、友達とのかかわりを喜ぶ

具体方針 (別紙参照)

子どもにとっての幼稚園として望むこと

- ・安心感をもち、穏やかな気持ちで過ごせる場
- ・興味・関心のあることにじっくりと取り組める場
- ・のびのびと自分の力を発揮できる場
- ・つまづきや失敗の受け入れられる場
- ・かけがえのない一人として大切にされているという実感のもてる場

一人一人を大切にしたい保育実践に努める

- 「**子どものために**」という考えを優先し、**子どもの視点に立った支援に努める**
- **一人一人の子どもを全職員で育てる**

- ・多面的な子ども理解と一人一人が主役になれる保育の工夫
- ・子どもの発達の課題を捉え、その課題に向かったの保育実践
- ・指導計画を基に子どもにふさわしい生活の展開、豊かな体験の積み重ねを
⇒*保育内容にアイデアを盛り込んで

園務分掌の活性化を図りましょう

前年度の踏襲ではなく、**創意工夫で新しい発想を一つでもできる工夫があれば意見を出そう**

*子どもが主体的意欲的に取り組める環境作り、教材研究

*職員間での学び合い（言葉がけ、対応の仕方）

*記録の取り方の工夫と活用

*研修の充実と活用

基本的な生活習慣の定着

- ・挨拶 聞く力を育てる ⇒ コミュニケーションの基盤
- ・身の回りのことを自分でできる喜び（食事、排泄等の自立）
生活に必要な技能の習得（当番活動、クッキング）
- ・戸外遊びの重視（活動と休息）、
登園後からの遊び（活動）の時間設定 自分で主体的に取り組む遊びを午前中の早い時間に

職員間の「和」協力体制作り・・・マンパワーとチームワークを大切に

- ・ **組織の一員であるという自覚と責任**をもつ。
 - * 周囲の状況を察知し進んで行動しましょう。
- ・ **一人一人が持ち味を出し、互いの良さを認め合う職員集団**の構築
- ・ 職員間の連携を図り、支え合う、協力し合う雰囲気のある温かい職場に
 - * 愛情のある話し方とアドバイスを 謙虚な気持ちで素直に傾聴する
 - * 一人で問題や悩みを抱え込まず、皆で知恵を出し合い支え合しましょう。
- ・ **報告・連絡・相談**に努める 声を出し合い、確認を
- ・ 親しき中にも礼儀あり 節度ある態度で接しましょう。
 - * 挨拶、感謝と労いの言葉を掛け合しましょう。
 - * 保育中の私語は控えましょう。(私的な話、子どもの前での保護者に関する話など)

保護者との信頼関係作り

- ・ **保護者の悩みを把握、理解し、何でも話し合える関係作り**
 - * 教師の子どもへの温かい思いは保護者に伝わる 保護者にも肯定的な態度で接する
 - * タイミングのよい対応 初期対応が大切
- ・ 読みやすいクラスだよりの工夫 連絡ノートの活用
- ・ 子どもと触れ合う楽しさ、遊びを通して子育ての楽しさを知らせる

安全確保のための対応

- ・ 危機管理の徹底
 - 災害を想定した訓練、不審者対応の実施
 - 施設設備の安全点検
 - 防災防犯計画に基づくマニュアル作成と危機管理体制の確認
 - 新型コロナウイルス等各種感染症対策と自己管理**
- ・ 安全な生活を送るために
 - 交通ルール、集団でのルールや決まりを守る指導
 - 敏捷性を養う遊び等危険回避の力を育てる

人権意識をもちましょう 一人一人の責任と自覚を

- ・ 公務員として人権意識の向上が不可欠です。
 - 子どもの思いを優しく温かく受けとめるという考え方を基本に**
- ・ **公務員として守るべき服務規律**
 - 信用失墜行為の禁止
 - 秘密を守る義務
 - 営利企業等従事制限
 - 交通ルールの遵守 交通事故に気をつける(報告義務あり)
- ・ 自分自身の言動、身だしなみに気を配りましょう。(言葉遣い・服装・ふるまい等)
 - 保護者、地域の人から常に見られています。